

関連資料 2 . CS7201 シリーズ概要

1. 既存資産と最新オープン IT の融合で E ビジネスの変化とスピードへ迅速に対応

1.1 投資コスト、運用管理コストを低減し、システム価値を高めるサーバ統合

プロセッサ性能のスケールアップとスケールアウトによる拡張性、各コンポーネントの二重化や冗長構成による信頼性、パーティション(システム分割機能)による柔軟性を備えています。

1) 垂直方向と水平方向への拡張性

業容にあわせた柔軟なシステムの拡張性を提供します。

垂直方向には、IA64 に対応するプロセッサ能力の向上を計画しています。水平方向には、システムの増設(MCP と Windows で最大 8 パーティション)やシステム内のプロセッサ数の増強(合計 32 プロセッサ)ができます。

2) ビジネス機会の喪失につながるシステム全体の停止を回避

ダウンタイムはビジネス機会の喪失に直結します。ブロードバンド時代のグローバルなビジネスに、シングルポイントでの障害を排除するプロセッサ/メモリ/I/O モジュール、電源、冷却装置の多重化、コンポーネントのホットスワップ機能、そしてロードバランシングやフェイルオーバを盛り込んだクラスタリング環境を提供します(Windows 2000 Datacenter Server、または Windows 2000 Advanced Server にて提供)。

3) 業務運用にあわせた柔軟なシステム構成

CS7201 の基本システムには、MCP パーティションと Windows パーティションがひとつずつ含まれます。ユーザは、任意のパーティションを混在で 6 つまで追加でき、合計で 8 パーティションを一筐体に格納可能です。これらシステムは、IMS によって統合的に管理可能となり、業務の必要性に応じて追加するプラットフォームの特性を意識することなく、柔軟な構成を組むことができます。

4) サーバ統合によるコスト低減

データの鮮度に差がある限り正しい意思決定は行なえません。部門ごとに導入された PC やプリンタの管理も多大な負荷がかかります。また、ユーザが不特定多数に拡がりつつある現在、要求に見合う情報提供媒体の作成も多大な負荷がかかります。CS7201 では、各種サーバ統合を実現できます。

DB サーバ統合：

散在する Windows サーバ上に蓄積された情報と基幹データを容易に統合します。DataExtractor /NX^{注1)}では、基幹データを Oracle や SQL Server に複製する機能を基本で提供。リアルタイムレプリケーションを実現するレプリケータモジュールとデータの二次加工や統合を行なった後に複製するエクストラクタモジュールで構成します。

プリントサーバ統合：

ホストのプリントシステムでは、アプリケーションに依存しない送達確認や部分印刷などが可能な反面多種多様なプリンタへの対応に制限があります。オープン環境では、身近なプリンタを自由に利用できますが基幹業務としての運用管理機能に大きな制約があります。統合プリントサーバは、MCP もしくは Windows パーティションで作成される帳票に関する書式オーバーレイ/外字/フォント/配布などの機能を一元管理できます。

ターミナルサーバ統合：

ターミナルサーバには、マルチベンダホスト端末のエミュレーション、新しい業務処理、OA 系業務など、さまざまな用途が考えられます。プログラムはサーバ

上で稼働しますので、クライアントに大きな資源を要求せず、既存の PC を利用可能です。

1.2 既存アプリケーション資産を有効活用するためのシステム連携

CS7201 では、豊富な連携ミドルウェアによって基幹アプリケーションを利用しながら短期間で E ビジネス対応が実現できます。また、斬新な開発環境によって、ユーザの戦略構築から実践まで、E ビジネスの積極的展開を短期間で支援します。

1) 企業間連携、協業を幅広く支える EAI(Enterprise Application Integration)基盤 NXDRB

Java2、XML に準拠した連携基盤 NXDRB(NX Distribution Request Broker)は、各種市販ソフトウェアとの連携アダプタによって基幹システムとの融合を果たします。例えば、マイクロソフト社の Office 製品、電子メール、FAX/FAXOCR、音声や EDI 製品に加え、ERP や CRM などの統合アプリケーション製品との連携による企業情報システムの構築が容易に行えます。

2) リアルタイムはもとより、24x7 処理を支えるトランザクション連携基盤

リアルタイム処理には、COMTI for ClearPath MCP ^{注2)} によるマイクロソフト社 MTS(Microsoft Transaction Server)とのトランザクション連携を提供します。単一サーバクライアント AP から、さまざまなプラットフォーム上のアプリケーションに連携しますので、迅速な企業間連携に最適なソリューションです。

非同期処理には、キューイング型のメッセージ連携基盤である NX/MQGWATEWAY ^{注3)} があります。相手システムの稼働に関係なく、送受信処理を完結でき送達確認や再送機能を提供します。

3) コンポーネント型のシステム開発

Bizaction ^{注4)} は、インターネット EDI、ナレッジ・マネジメント、営業支援ポータル、など WWW アプリケーションを業務にあわせたビジネステンプレートの組合せとウィザード形式のインタフェースによってプログラム・コーディングなしにシステムの開発ができます。Bizaction による WWW アプリケーションの自動生成サービス基盤は、CS7201 の基本モジュールとして提供されます。

4) WWW に対応したアプリケーション開発環境

LINC2000 ^{注5)} は、MCP と Windows パーティション上のソリューション構築を統合された開発環境の中でおこなえる開発支援ソフトウェアです。関連製品の ActiveLINC と組合せて、インターネット対応の大規模トランザクション・システムを容易に構築することが可能です。

5) プロトタイプによる E ビジネス実証サービスの提供

E ビジネス対応をすすめるにあたって疑問や不安を持ったユーザにプロトタイプを通じて確実な E ビジネス化を提案します。E サービスパックは、ユーザの環境で既存業務を E ビジネス対応にした際のイメージを体験可能なパッケージサービスです。既存システム、ビジネス要件、プロダクト知識を兼ね備えた専任チームがサービスを実施します。

2. CMP アーキテクチャが E ビジネス時代の夢を叶えます

2.1 革新的な CMP アーキテクチャがエンタープライズソリューションの常識を変えます

CMP アーキテクチャは、SMP とクラスタリングの長所を兼ね備えたユニシスの独自技術による最先端アーキテクチャです。

同一筐体内で Windows OS と MCP を混在させます。堅牢性とハイパフォーマンスを兼ね備えたプラットフォームに、E ビジネス特有の急激なシステム負荷の変動に容易に対応す

る機能を付加し、戦略的、機動的な IT 活用をスピーディかつ低コストで実現できます。ブロードバンド時代の SAN や高速ネットワークをはじめとする最新テクノロジーに対応しています。

1)必要なときに必要な性能を入手

CS7201 では、パーティショニングによりひとつのプラットフォーム上に MCP と Windows 2000 など複数 OS を搭載し、非同期に並行稼働させることができます(基本構成で MCP/Windows 2000 Advanced Server を各 1 パーティション含む、任意の構成で最大 8 パーティションまで増設可能)。パーティション間でクラスタリングも可能で、システム・リソースを動的に再配置するダイナミック・パーティショニング機能も計画しています。

注 1)DataExtractor /NX :

基幹システムから Oracle や SQL Server など市販 RDB にデータ抽出するミドルウェア。

注 2) COMTI for ClearPath MCP :

マイクロソフト社の COM Transaction Server と MCP 環境のトランザクション連携を実現するミドルウェア。

注 3) NX/MQGATEWAY :

MQSeries(システム間非同期メッセージ交換を実現する IBM 社のミドルウェア製品)と連携するゲートウェイ。MSMQ(マイクロソフト MQ)とも連携。

注 4) Bizaction :

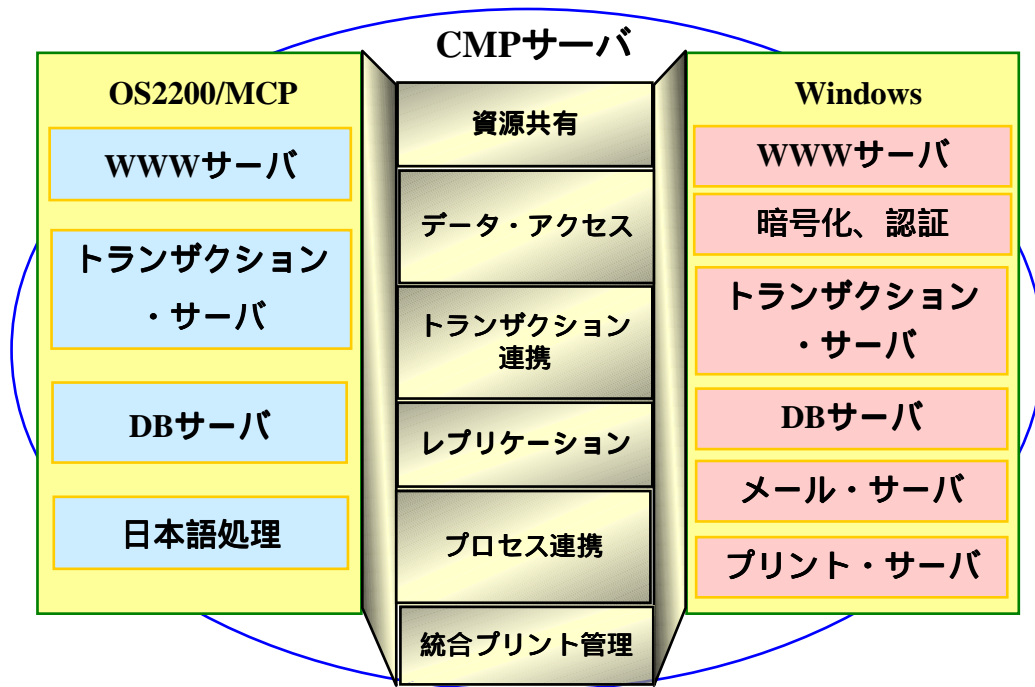
ビジネステンプレートの組合せで E ビジネス対応システムを構築するビルディングブロック・ソリューション。

注 5) LINC2000 :

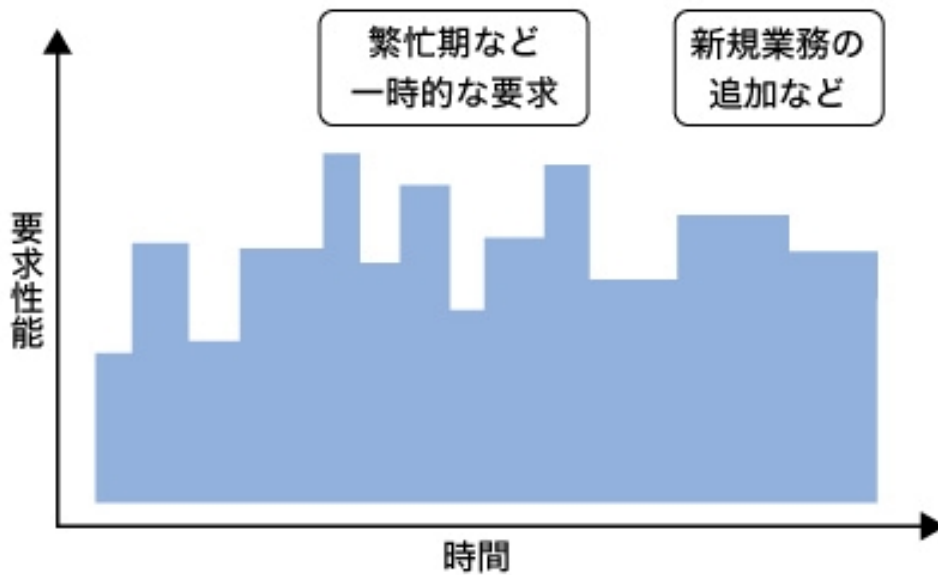
ビジネスロジックから DB、ネットワークまで、高生産性ソリューション開発支援ソフトウェア。

以上

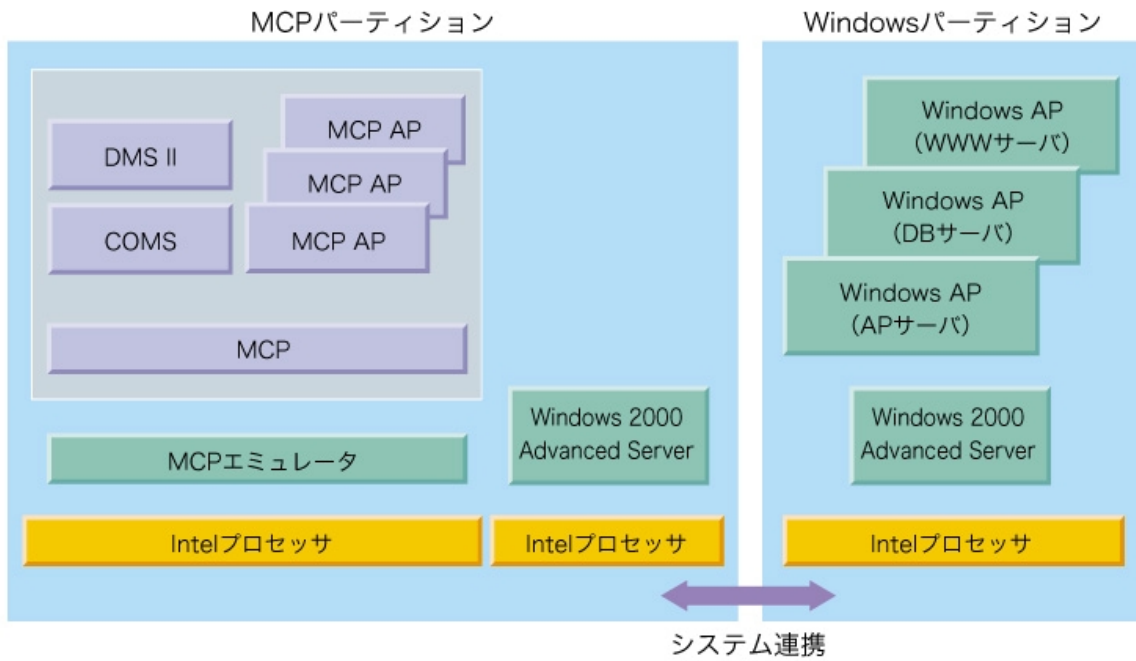
(図-1)OS2200/MCP と Windows の融合



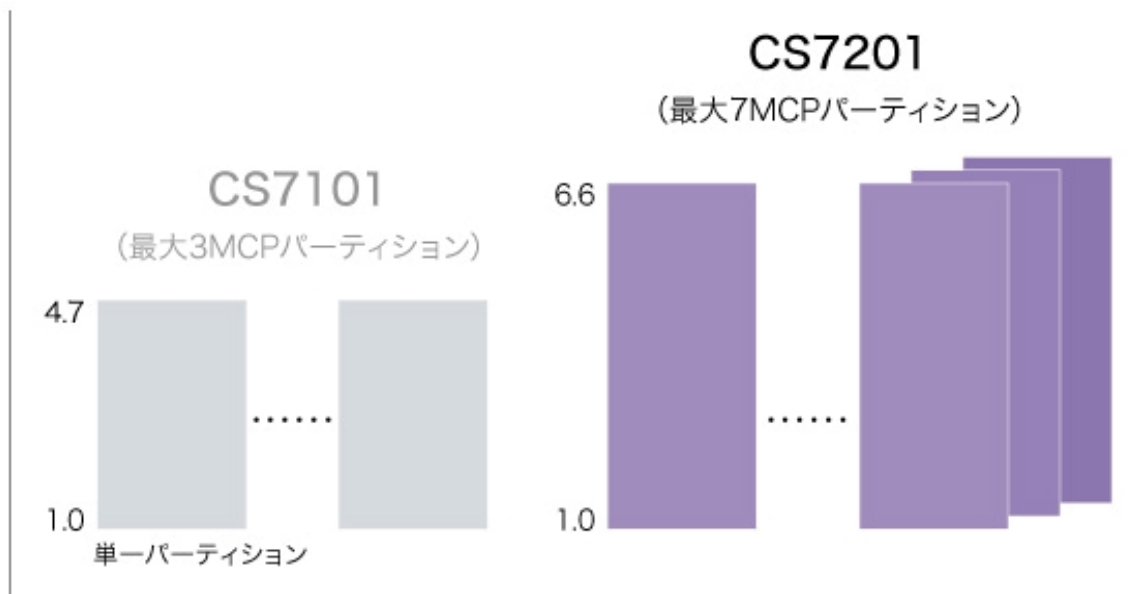
(図-2) Capacity on Demand 概要



(図-3) CS7201 のエミュレーション



(図-4) 相対性能比較表



(表-1)CS7201 基本構成

プラットフォーム・モデル		MCPパーティション					Windowsパーティション					備 考
		IP数	実メモリ *1	ディスク	PCIスロット	WindowsOS *2	IP数	実メモリ	ディスク	PCIスロット	WindowsOS	
CSJ 7201-SAS	シングルドメインW2KADS	4	1080MB	36GB×2	6	Windows2000 ADS	4	1000MB	36GB×2	6	Windows2000 ADS	冗長DC電源装備、 冗長冷却機構装備 最大1又は2パーティション追加可能
CSJ 7201-SDS	シングルドメインW2KDCS	4	1080MB	36GB×2	6	Windows2000 ADS	8	1000MB	36GB×2	6	Windows2000 DCS 8IP *3	
CSJ 7201-DAS	デュアルドメインW2KADS	4	1080MB	36GB×2	6	Windows2000 ADS	4	1000MB	36GB×2	6	Windows2000 ADS	冗長DC電源装備、 冗長冷却機構装備 冗長MIP/クロック装備 最大5又は6パーティション追加可能
CSJ 7201-DDS	デュアルドメインW2KDCS	4	1080MB	36GB×2	6	Windows2000 ADS	8	1000MB	36GB×2	6	Windows2000 DCS 8IP	

*1: MCPパーティションのメモリは3GBを実装しているが、MCP実効メモリは1,080MB

*2: W2KADS: Windows 2000 Advanced Server

*3: W2KDCS: Windows 2000 Datacenter Server

MCPキャパシティ	相対性能
CSJ 7201-031	1.0
CSJ 7201-051	1.7
CSJ 7201-071	2.5
CSJ 7201-101	3.3
CSJ 7201-152	5.0
CSJ 7201-202	6.6